

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S39	施策名	行政改革の推進
担当部課	総務部行政課	関係部課	全課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 行政改革指針、中期財政計画、行政評価実施要領
施策開始の背景、経緯等	効率的な行政運営を図りつつ、その減量化に努め、住民福祉の増進に資するため、昭和60年に第1次長久手町行政改革大綱を策定し、その後、平成9年に第2次行政改革大綱、平成17年に第3次行政改革大綱、平成29年に行政改革指針を策定し、平成31年に同指針を改訂した。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 総合計画の目的を達成するために、財源を確保しながら、行政を効率的かつ確実に運営するとともに、中期財政計画にある総支出の抑制及び財源の確保の重要性を踏まえ、中期財政計画と両輪で行政改革を推進する。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市内部(庁内)、各種事業
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 総合計画の目的を達成するために、財源を確保しながら、行政を効率的かつ確実に運営する。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	重要課題事業の決定・実施				
		R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		・第3弾を決定、第1弾、第2弾を含めた進捗管理を実施。	・第1弾～第3弾の進捗管理を行う。	・第1弾～第3弾の進捗管理を行う。	・第1弾～第3弾の進捗管理を行う。 ・指針の中間見直しを実施し、新たな重要課題事業の洗い出しを行う。	・新たな重要課題事業を決定し、取組を始める。
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0人	(延べ) 0人	(延べ) 0人	(延べ) 0人	(延べ) 0人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	行政評価の実施				
		R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		・内部評価を実施、外部評価はA票、S票合わせて12事業を対象に実施。 ・アクションプラン、予算との連動、反映。	・内部評価を実施、外部評価の実施方法の見直し。 ・アクションプラン、予算との連動、反映。	・内部評価、外部評価を実施。 ・アクションプラン、予算との連動、反映。	・内部評価、外部評価を実施。 ・アクションプラン、予算との連動、反映。	・内部評価、外部評価を実施。 ・アクションプラン、予算との連動、反映。
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		行政改革推進に関する助言指導委託 600千円	行政改革推進に関する助言指導委託 550千円	行政改革推進に関する助言指導委託 550千円	行政改革推進に関する助言指導委託 550千円	行政改革推進に関する助言指導委託 550千円
		行政改革推進委員会委員報酬 306千円	行政改革推進委員会委員報酬 636千円	行政改革推進委員会委員報酬 636千円	行政改革推進委員会委員報酬 636千円	行政改革推進委員会委員報酬 636千円
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 3人	(延べ) 80人	(延べ) 80人	(延べ) 80人	(延べ) 80人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ・行政評価票の作成を担当する職員を対象に成果指標の設定に対する支援、助言のためのワークショップ形式による研修を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の対応として、行政改革推進委員会や外部評価を书面開催、オンライン形式により実施した。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) ・行政評価票の様式について、作成しやすく、見やすくより活用しやすい評価票となるよう改善を行った。 ・外部評価などで意見の多かった成果指標設定の課題について、「魚の骨図」を活用したワークショップ形式の職員研修を実施実施することにより、指標設定や施策の意図との関連性の明確化などを中心に改善の取組を行っている。
------	--------	---

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) ・具体的な取組(第1弾～第3弾)の決定により、行政改革指針の運用を見える化することができたが、実際の取組の推進に向けた進捗の管理、支援が必要となる。 ・行政評価票の改良により作りやすく、また見やすくなったが、引き続き作成する際のフォローを行い、更なる適正な行政評価の実施に取り組む。
----	-------	---

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) ・重要課題事業の具体的な取組により中期財政計画で示された総支出の抑制及び財源の確保を図ることが重要であり、そのために職員が常に費用対効果(コスト)を意識して事業の実施や行政評価票の作成に取り組めるとよい。 ・各事業の評価票(A票)の「事業の対象あたりのコスト」を分析し、予算への反映や事務改善につなげた。
-------	------------------	--

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) ・具体的な取組(第1弾～第3弾)の進捗管理を行い、各担当課が取組を実施する際の課題の整理、実現に向けた支援を行っていきたい。 ・行政評価(外部評価を含む。)が継続した取組となるように、様々な活用を図る。 ・行政改革の推進及び行政評価の適正化にあたっては、職員の意識改革が重要なため、管理職向けの研修を行い引き続き意識向上を図る。(令和2年度は担当職員向けにワークショップを実施した。)
----	------------	--

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・トータルシステムが構築されるように、総合計画、長久手市みんなで作るまち条例、中期財政計画、行政改革指針、行政評価等と連携を引き続き図ってください。
------	--------------------	--

内部意見への回答		
----------	--	--